

取組事例

(**所定外労働削減**・**年休取得促進**・**多様な正社員**・**朝型の働き方**・テレワーク)

企業名： 健祥会グループ	所在地：徳島県 徳島市
社員数： 約 2,700 名	業種： 14 医療、福祉



取組の目的：

どこにも負けないサービス、職環境の整備、地域貢献を3つの行動指針に掲げ、介護・福祉、医療、教育・保育を「新成長産業」と位置づけ、その担い手である私たち社会福祉法人がガバナンスを発揮し、より質の高いサービスを提供する供給体へ、また働きがいのある職場へと改革していくことを目的とする。

取組の概要：

現在の取組

トップメッセージ

3つの行動指針のひとつに職環境の充実を掲げており、実現に向けて取り組んでいるところである。若者に徳島に留まってもらい、人口流出を食い止めるためにも、新しい試みに積極的に取り組んでいきたいと考えている。

雇用形態の選択が可能

正社員として働く者もいれば、自分の都合のよい時間に働きたい者等、様々な理由で多様な働き方を選択できる制度を導入している。特に女性にとって、子育て中に勤務時間の調整（時短の措置）ができることで、多くの者が利用している。また、家庭の都合などで一時的に短時間勤務に変更したり、短時間勤務社員として採用された者がその特性や能力を発揮することで、正社員へ登用されることもできる。

女性の活躍推進への取組み

正規・非正規ともに産前産後休暇・育児休業を取得することができ、ほぼ全員が取得している。育児休業後も休業前の職場に復帰することができ、復帰率も90%を超えている。

若手管理者の登用

現在、30歳代の施設長が40歳代、50歳代を上回って14名。人口流出を食い止めるためにも働きがいのある職場づくりとして若手を積極的に登用している。若手の柔軟な発想や意見を取り入れた、新しい試みに期待している。

今後の取組

年次有給休暇取得促進に向けての取組み

社会福祉施設での年次有給休暇の取得率は決して高いとは言えない中、様々な休暇の在り方を模索し、少しでも取得率を上げるよう取り組んでいくつもりである。そのためにもまず現状把握し、シフト調整など行い、各々で年次有給休暇を取得するための工夫をしていく予定である。

所定外労働時間削減のための取組み

業務の見直しを行い、変形労働時間制などをうまく活用しながら、所定外労働時間ゼロを目指す。

また次期行動計画にノー残業デーの設定を盛り込み、定時退社により習い事や趣味、家庭に費やす時間を確保することで私生活を充実させることにより、仕事に対する意欲と効率アップを目指す。

現状とこれまでの取組の効果：

雇用形態の選択が可能

事業所、職種が多様なため、個々の事情に応じた多様な雇用形態を選択でき、継続して勤務することができる。また、結婚などで転居する場合にも、事業所が県内各地にあるため、新しい住所地の近くの事業所で引き続き勤務が可能。

女性の活躍推進への取組み

女性の管理職への登用を積極的に行っており、現在全管理職者の43.8%（251名中110名）が女性である。女性ならではの視点や発想を活かし、経営の中核を担ってくれている。

若手管理者の登用

正規・非正規関係なく管理職を目指すことができるため、競争意欲も刺激される。

年次有給休暇取得促進に向けての取組み

連休取得促進のための制度を整備しているものの、現実の取得率は30%程度。各事業所で調整等行って、取得し易い職環境を整備中である。

所定外労働時間削減のための取組み

業務が集中する年度末・年度初めにはどうしても時間外勤務する者が出てしまいがちである。業務の内容、時間配分、シフトなどよく見直すとともに、所定外労働時間削減に向けて努力していく。